

◎押忍!番長A

大都技研のキラコンコンテンツ、「番長」から、A+RT機が登場。シリーズでもおなじみの、はずれ目からの第1リール消灯など、番長のシステムや世界観にこだわった作りとなっており、歴代ファンも納得の1台といえるでしょう。豊富な設定判別要素も含め、その仕上がりを見ていきましょう。

A+RT機。BB中の楽曲は、最大25曲（初期は12曲）から選択可能。歴代シリーズだけでなく、新曲や「CRぱちんこ押忍!番長」のものも搭載しています。



©DAITO GIKEN,INC.

歴代シリーズの演出を踏襲

本機は、A+RT機で、ベースは50枚当たり、約33~35G、コイン単価は約2.3円。ボーナス確率はBBが1/273.1~240.9、RBが1/331~240.9。ボーナス合成確率は1/149.6~120.5。出玉率は98.5~109.7%です。

■通常時

本機は、歴代の「押忍!番長」「押忍!番長2」「押忍!サラリーマン番長」「押忍!番長3」の4機種種の演出が、さまざまな場面で登場します。

通常時は、はずれ目やレア役から前兆がスタート。対決演出に発展し、勝利でボーナスが確定するというのが基本のフロー。チャンス目からは、おなじみの「特訓」を経由することが多く、チャンス目以外から、「特訓」に突入するとアツいといった特徴も。

対決演出は、古いシリーズ機のものほど、期待度が高くなります。なお、対決の映像は、当時のものを使用しているため、初代の演出に発展すれば、アツさとなつかしさで、ユーザーを魅了する作りといえるでしょう。

■ボーナス

BBは、獲得枚数とRTのG数が異なる2種類。青7ぞろいで、最大獲得枚数が304枚、RTが50G。赤7と白7、赤赤白だと、最大獲得枚数が260枚、RTが20Gです。

RBは、最大獲得枚数が106枚で、RTは付きません。

ボーナス中は、順押しでのフリー打ちでOKですが、1度だけ逆押しをして、左リールにBAR図柄を狙い、9枚役を獲得することで、最大獲得が可能となります。

また、ボーナス終了画面で設定を示唆しているほか、RB中の9枚役獲得後に、左リールの枠内に、2連7図柄（赤7と青7）を狙い、停止すると、番長のうしろに、キャラクターが連なっていく。その出現キャラクターも、設定示唆要素となっています。

■RT

RT中の演出は、初代の「轟BB」、番長2の「頂RUSH」、サラリーマン番長の「鏡・頂RUSH」、番長3の「頂JOURNEY」の4種類から、任意で選択できるようになっています。

RT中は、通常時同様、はずれ目やチャンス役からボーナスを目指します。当該役を引いたあと、ステージチェンジするとチャンスアップです。

RT終了画面では、「番長3」の「頂JOURNEY」を踏襲し、設定5or6や6確定などの設定示唆要素を搭載しています。

最近の液晶付きノーマルタイプは、レバーオン時の強演出待ちという機種

が多いといえます。

本機は、第1停止からの演出発生も多彩に盛り込むことで、レバーオン時に演出がなくても、その回転に期待ができるため、リール停止ボタンを押すことが“作業化”するのを防いでいます。この少しの差が、打ち手に大きく影響する可能性も…。

歴代シリーズの演出など、“番長らしさ”をしっかりと残していることも踏まえ、ユーザーも打ち込みがいがあるのではないのでしょうか。

液晶付きノーマルタイプとして、稼働がよかった同社の「クレアの秘宝伝〜はじまりの扉と太陽の石〜」と比べても遜色ないスペック、演出、コンテンツ。ぜひとも複数台、導入したいところです。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)
株式会社アテイン 代表取締役
関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して12年。業界歴は28年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。